

DSRC車載器と接続して使う

別売のDSRC車載器(CY-DSR140D)*を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

※本機は電波・光ビーコンサービスに対応していません。サービスを受けるには、別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)との接続が必要です。

- 本機、およびCY-DSR140Dは、カード抜き忘れ警告の案内を行いません。
- DSRC車載器を本機に接続すると、DSRC車載器側の機能が一部制限されます。
 - ・DSRC車載器の一部のボタンは操作できません。
 - ・DSRC車載器からの音声案内は行いません。ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。ただし、CY-DSR110D以前のDSRC車載器では、DSRC車載器から音声案内される場合があります。(カード抜き忘れ警告の案内など)

VICS情報提供サービス(P.82)

DSRC路側機(道路に設置される路側無線装置)より5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.83)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報*1を考慮したルート探索ができます。(P.71、75「VICS経路探索」)
- 高速道路上のITSスポットではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.83)

※1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

DSRCアップリンク(P.85)

DSRC車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をDSRC路側機へ送信することをいいます。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、DSRC車載器の説明書をご覧ください。
- DSRCアップリンクする/しないの設定ができます。(P.85)

ETC車載器として使う

DSRC車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- ETC車載器は、本機に接続できません。
- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを入れると、「カードが読めません」と音声案内されます。
- DSRC車載器接続時は、カードを入れると地図画面に「ETC」と表示されます。
- ETC設定(カード未挿入警告)を「する」に設定してください。(P.166)
- ETC拡大図表示を「する」に設定してください。(P.163)

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCゲートを通過できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
例:「カードの有効期限が近づいています」「カードの有効期限をお確かめください」
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

料金履歴を見る

情報メニュー(P.22)から

高速料金表示を選ぶ

- 高速料金履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)

高速料金履歴			
最新	利用日	料金	戻る
↑	20XX年 X月 XX日	600円	詳細
	20XX年 X月 XX日	600円	詳細
	20XX年 X月 XX日	450円	詳細
	20XX年 X月 XX日	550円	詳細
↓	20XX年 X月 XX日	~150円	詳細

- 最新: 日付の新しい順に5件表示
- 詳細: 料金履歴の詳細を表示
- ▲ ▼: ページの切替
- 100件を超えると古い順に消去されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**高速料金表示**を選んで高速料金履歴画面(上記)が表示されるまでは、DSRC車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

リヤビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。(P.165)
 - ・カメラスケール表示を調整
 - ・カメラ割込みを「する」に設定

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

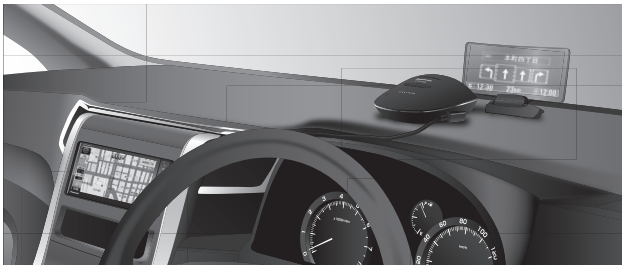


お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面(P.165)を表示させ、画質を調整してください。(P.17)

フロントインフォディスプレイと接続して使う

本機に連動したルートやVICSなどの案内情報画面を、別売のフロントインフォディスプレイ (CY-DF100D) に割り込み表示させることができます。



フロントインフォディスプレイの設定をする

フロントインフォディスプレイをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

- 1 設定メニュー (P.23) から**各種設定**を選ぶ
- 2 各種設定画面から**その他**を選ぶ
- 3 **フロントインフォディスプレイ**を選ぶ
- 4 各項目を設定し、**完了**を選ぶ



[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容/操作
画面表示	「 する 」: フロントインフォディスプレイに案内が表示される 「 しない 」: フロントインフォディスプレイには何も表示されない
入力切換	「 案内情報 」: 本機の案内が表示される 「 外部入力 」: フロントインフォディスプレイの外部入力接続端子に接続した機器の映像が表示される*1
明るさ	フロントインフォディスプレイの明るさを、 ◀/▶ で調整する ●調整範囲: -5~±0~+5 (11段階)
台形補正	フロントインフォディスプレイの傾きを、 ◀/▶ で補正する ●調整範囲: -3~±0~+3 (7段階) ●上辺/底辺の長さを調整することで画像の見えかたを補正します。 ● 補正画像表示 を選ぶと、カラーバーがフロントインフォディスプレイに表示されます。カラーバー画面が長方形になるように調整してください。

* 1 走行中は表示されません。(案内情報が表示されます。) 外部入力機器の映像を見るには、安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。

表示例

★印…ルート案内中にのみ、表示されます。



■ **一般道路走行情報**
道路名称、運転アドバイスマーク、到着予想時刻と残距離★、分岐地点までの距離★、分岐地点の交差点名称と進む方向★、渋滞または規制情報★などが、表示されます。



■ **通過交差点情報**
通過する交差点の名称、レーン情報が、表示されます。



■ **分岐案内**
分岐地点までの距離、分岐地点の名称、分岐方向などが、表示されます。一般道の場合には、レーン情報も表示されます。



■ **ハイウェイ案内**
都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると、SA・PA・IC・JCTや料金所の名称、自転車からの距離、運転アドバイスマーク、施設の情報、渋滞または規制情報★などが、表示されます。



■ **ETC案内**
料金所手前でETCレーンの情報が、表示されます。(DSRC車載器接続時のみ)



■ **VICS案内**
渋滞または規制の情報を受信すると、表示されます。(約5秒間)
●VICS 渋滞・規制音声自動発声 (P.163) を「する」に設定した場合のみ、表示されます。



■ **運転アドバイス**
踏切警告/合流警告/カーブ警告/レーン警告 (高速道路のみ)/事故多発地点案内が、表示されます。(約5秒間)
●各設定 (P.163) を「する」に設定した場合のみ、表示されます。



■ **到着案内**
目的地または経由地に近づくと、表示されます。

※フロントインフォディスプレイの表示は実際と異なる場合があります。

別売品と組み合わせて使う

別売品

ビデオカメラと組み合わせる

準備

- ビデオカメラを本機に接続してください。

HDMIで接続している場合

オーディオ選択タッチキー(P.22)から
HDMIを選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

お知らせ

- BLUETOOTH Audio機器が本機に接続された状態で「HDMI」に切り換えると、約10秒間音声が出力されない場合がありますが、故障ではありません。

映像・音声入力コードで接続している場合

オーディオ選択タッチキー(P.22)から
VTRを選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

ビデオ再生中に**AUDIO**を押すと、
状態表示画面が表示されます。
例：VTR



全画面で表示

- AUDIO**を押しても、
全画面で表示できます。

音質・音場を
調整する
(P.126)

アスペクトを切り換える(P.128)

2台目のモニターと組み合わせる

本機の映像^{※1}を、2台目のモニターに表示できます。

準備

- 2台目のモニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ入力」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える(P.88)

- 本機および2台目のモニターに、選んだオーディオが表示されます。
- 現在地**を押すと、2台目のモニターに映像を出力したまま、本機のモニターを現在地画面に切り換えることができます。
- 2台目のモニターには、走行中でも映像が出力されます。

※1 デジタルTV、DVD、iPodビデオ、VTR

ダウンロードキーの出力

インターネットで年度更新地図データをダウンロードする際に使用します。

準備

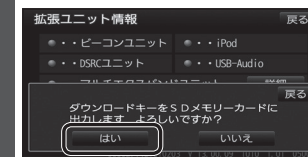
- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.27)

1 情報メニュー(P.22)から
拡張ユニットを選ぶ

2 ダウンロードキー出力を選ぶ



3 はいを選ぶ



- SDメモリーカードのルートフォルダに、ダウンロードキー「update_info_AS300*.dat」が出力され、本機が再起動します。
(「*」部は、お買い上げ製品の品番によって異なります。)

お知らせ

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定次第、下記サイトにてご案内します。
<http://panasonic.jp/navi/>